

# 一般質問

12月13日、14日、15日の3日間に行われた一般質問が行われました。一般質問とは市政全般について市当局の考えなどを聞くもので、23人の議員が質問を行いました。主な内容は次の通りです。  
会派名は略称です(正式名称は欄外参照)。



## 自然豊かな南区平和北特別緑地保全地区の今後の活用は

新 維

### 問

平和北特別緑地保全地区は、都市の中にある自然豊かな貴重な緑地として保全が求められている。清掃活動や大きな石の撤去など地域住民によって維持管理が行われており、本市も、活動に必要な水道の設置など協力する必要がある。同地区の今後の活用についてどのように考えているのか。

### 答

同地区は、清掃や除草など、活動に必要な水道設備の設置について要望を受けており、活動状況などを見ながら検討したい。今後の活用については、緑地の保全と、散策や休憩などの利用ができるような整備を検討していく。

## 長住中央公園再整備については健全な地域内議論の促進を

無所属

### 問

長住中央公園のグラウンドの利用団体は長住を拠点としており、大半は近隣地域の居住者である。今回の公園再整備に関する意見の対立は地域の問題であり、地域で解決すべきものである。市は、グラウンド部分以外は早期着工の方針を示し、意見の対立があるグラウンド部分は結論を出さず、健全な地域内議論の再開を促してほしい。

### 答

長住中央公園の再整備については、今後、自治協議会と

利用団体がお互いに譲り合い、歩み寄る精神で話し合ってもらうことが最も重要と考えており、市としても双方に納得してもらえらる形で再整備を目指して取り組んでいく。

## 市有施設の自家発電設備の負荷運転実施状況は

無所属

### 問

10月の決算特別委員会で、市有施設の自家発電設備の負荷運転実施状況は4割と聞いていたが、新聞報道で2割と知った。施設の管理を請け負わせる場合、費用の積算に負荷点検が含まれているのに実施していないければ、返還を求めなければならず、今後の検討を指摘しておく。

### 答

本市が管理する76台の自家発電設備は、消防設備などの点検結果報告に添付される点検表を確認したところ、実施状況欄に「○」とだけ記載されたものが約4割あったが、具体的な記載がなかったため、担当部署に聞き取りを行ったところ21%と判明したものである。

## 浸水対策の観点から非常に重要な道路側溝の清掃状況は

自 民

### 問

近年、豪雨災害に対する備えが重要になっている。道路側溝は、雨水排水の入り口であり、土砂の堆積などによって詰まると、雨水が下流の雨水管に流れ込み、機能が十分発揮されなくなる。浸水対策の観点から、維持管

理としての清掃が非常に重要だが、どのように行われているのか。

### 答

道路側溝については、各区役所の道路パトロールによる異常箇所の発見や、市民、市職員、企業、団体からの通報により、速やかに現場を確認し、清掃を行っている。今後とも、できるだけ多くの目で見てもらい、道路の異常の早期発見、早期対応に努めていく。

## 市営駐車場の管理には一歩踏み込んだ民間活力の導入を

無所属

### 問

市営駐車場における民間活力の導入は、指定管理者制度が最適解ではなく、さらなる施設の魅力向上を図るためには、管理にとどまらない経営の発想が求められる。老朽化に伴う施設整備も含んだPFI手法や民営化などの一歩踏み込んだ民間活力の導入を検討すべきと思うが所見を。

### 答

市営駐車場は、まちづくりに伴い必要となる駐車場を確保する目的で設置してきた。管理運営は指定管理者制度を導入して運営改善や経費削減を図ってきたが、今後の市営駐車場のあり方については、利用状況などを調査・整理し、検討する必要があると考えている。

## 災害時には外国人についても混乱のない避難誘導を

公 明

### 問

本市の特徴の一つとして、外国人観光客や在住外国人が増えている。災害から市民の安全を守り抜くことはもちろんのこと、多くの国から集まってきた人についても災害時に混乱なく避難誘導することが求められる。地域防災計画の見直しを進め、さらなる防災対策の強化を目指す市長の決意を問う。

災害発生の際には、適時適切な情報提供が非常に重要である。見直し中の地域防災計画におい

### 答

て、外国人への支援についてしっかりと位置付けを行い、的確な避難情報の提供や支援体制の整備など、全ての外国人が安心して暮らし、訪れてもらえる環境づくりを推進する。



8か国語で作成されている「外国人のための防災ハンドブック」

## 本市のJアラート訓練は危機感をおおるのでは

緑・ネ

### 問

本市はJアラート訓練を行うが、外交防衛は国の専管事務としながら訓練を行うことは、危機感をおおる緊張を高めるものである。また、在釜山日本総領事館前の少女像設置に対する釜山広域市への局長派遣などの本市の行動は、日韓関係を阻害するのではないかと

### 答

訓練は、ミサイルが飛来した場合の情報伝達の確認や、身を守るための行動について考えてもらう機会とするために実施したもので、危機感をおおるものではない。釜山広域市とは相互理解につながる姉妹都市交流事業に取り組みしており、関係を阻害するものではない。

## 地域の課題解決に向けた今後の「共創」のまちづくりは

自 民 新

### 問

自治協議会制度が始まって以降、地域による独自のまちづくりが進められ、市の関わり

が減った結果、地域住民の負担が増えたことが担い手不足の一因になっている。地域が抱える課題解決に向けて、より一層の取り組みが必要と考えるが、今後の「共創」のまちづくりについて所見を。

### 答

自治協議会と本市がパートナーとして、企業やNPOなどさまざまな主体を巻き込み地域の未来を共に創り出す「共創」の取り組みを進めている。自治会などには人材発掘の支援を行っているが、新たな支援策も検討し、地域とともにしっかりと取り組んでいく。

## 外国人に対するやさしい日本語の取り組みを

市民ク

### 問

増加する外国人への災害や住民サービスなどの情報発信のツールとして、また、日常生活のコミュニケーションやインバウンドに対応した観光のツールとして、やさしい日本語の手引きを作成し、活用することが重要であると考えている。今後の取り組みの方向性を問う。

### 答

やさしい日本語は、災害時の情報発信はもとより、外国人が日本で生活をする上で必要なルールを伝える場面、コミュニケーションを図る場面など、さまざまな場面での活用が考えられる。作成中の手引きを用いるなどして、関係団体などと協議し、活用を働きかけたい。

## 慰安婦像をめぐる釜山広域市への圧力をやめよ

共 産

### 問

本市は姉妹都市である釜山広域市とは古くから貿易や文化などさまざまな分野で交流を重ねてきたが、市長は9回にわたって「慰安婦」像問題を協議の場に持ち込み、像の撤去について無言の圧力をかけ

ている。直ちにやめるとともに、これまでの協議での発言を撤回し同市に謝罪すべきと思うが所見を。

### 答

在釜山日本総領事館前の慰安婦像問題については、日韓政府間で、解決に向けて取り組みべきものである。本市は、引き続き、両市民の安全を第一に、緊密に釜山広域市と連携しながら、市民の相互理解の促進等につながる姉妹都市交流事業に取り組んでいく。

## 将来に向けて民生委員が活動しやすい仕組みづくりを

みらい

### 問

民生委員制度創設100周年を機に、改めて民生委員活動の周知に努め、民生委員への敬意を払うとともに、負担軽減の取り組みを行い、将来に向けて民生委員が活動しやすい仕組みづくりに努めるべきである。活動のあり方についての今後の取り組みの方向性は。

### 答

民生委員の活動を広く理解してもらうため、より一層の広報に努めるとともに、継続してもらう糧となるよう、2期目の人を対象に、本市独自の新たな表彰制度を検討している。また、全ての民生委員を対象に行う意識調査の結果を踏まえて、負担軽減に取り組み、活動しやすい環境づくりに努める。

## 民泊をめぐるトラブルから市民を守るための条例制定を

共 産

### 問

住宅宿泊事業法、いわゆる民泊新法が施行されれば、法的手続きが大幅に緩和され、これまでさまざまな問題があった無許可民泊がさらに激増し、深刻な事態が広がる。市民の住環境を守るとともに、健全な宿泊業や観光発展のためにも、旅館業法並みの規制ルールを原則とする条例を制定すべき。